【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【公表番号】特表2010-512602(P2010-512602A)
【公表日】平成22年4月22日(2010.4.22)
【年通号数】公開・登録公報2010-016
【出願番号】特願2009-541446(P2009-541446)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４５Ｍ
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４７Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成23年7月15日(2011.7.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電子文書データと、
データテーブルからのデータを含む構造化データと
を含み、前記電子文書データはＲＳＳ（Really Simple Syndication）フォーマットと互換性があり、前記構造化データのフォーマットは、データ構造を維持したままＲＳＳ互換フィードを介して電子文書データを処理するために、前記データテーブルからのデータがユーザアプリケーションにロードでき、前記構造化データのフォーマットは
コラム要素、
項目、および
ＩＤサブ要素および値サブ要素を含むフィールド要素
を含むことを特徴とするデータ構造。
【請求項２】
構造化データの型を示す少なくとも１つの要素をさらに含むことを特徴とする請求項１に記載のデータ構造。
【請求項３】
前記型は、レコード型、代数データ型、タプル型、抽象データ型、参照型、クラス型、および関数型のうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項２に記載のデータ構造。
【請求項４】
前記項目は、前記コラム要素を示すＩＤ要素を含むことを特徴とする請求項１に記載のデータ構造。
【請求項５】
前記構造化データの各要素は、前記電子文書データは構造化データを配信するように構成されたことを示す接頭辞“ｒｓｓｄ”を含むことを特徴とする請求項１に記載のデータ構造。
【請求項６】
前記電子文書データの構文がＸＭＬに従うことを特徴とする請求項１に記載のデータ構造。

【請求項７】
コンピュータによって構造化データを配信する方法であって、
構造化データを含む電子文書を処理するステップを含み、前記構造化データはデータテーブルからのデータを含み、前記電子文書はＲＳＳ（Really Simple Syndication）フォーマットと互換性があり、前記構造化データのフォーマットは、データ構造を維持したままＲＳＳ互換フィードを介して電子文書データを処理するために、前記データテーブルからのデータがユーザアプリケーションにロードでき、前記構造化データのフォーマットは
コラム要素、
項目、および
ＩＤサブ要素および値サブ要素を含むフィールド要素
を含むことを特徴とする方法。
【請求項８】
前記電子文書は構造化データの型を示す少なくとも１つの要素をさらに含むことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記型は、レコード型、代数データ型、タプル型、抽象データ型、参照型、クラス型、および関数型のうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記項目は、前記コラム要素を示すＩＤ要素を含むことを特徴とする請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記構造化データの各要素は、前記電子文書データは構造化データを配信するように構成されたことを示す接頭辞“ｒｓｓｄ”を含むことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項１２】
前記構造化データを、構造化データを処理できる少なくとも１つのアプリケーションに提供するステップをさらに含むことを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項１３】
前記アプリケーションは表計算アプリケーションであることを特徴とする請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
コンピュータによって構造化データを配信するためのシステムであって、
構造化データを含む電子文書を処理するプロセッサを含み、前記構造化データはデータテーブルからのデータを含み、前記電子文書はＲＳＳ（Really Simple Syndication）フォーマットと互換性があり、前記構造化データのフォーマットは、データ構造を維持したままＲＳＳ互換フィードを介して電子文書データを処理するために、前記データテーブルからのデータがユーザアプリケーションにロードでき、前記構造化データのフォーマットは
コラム要素、
項目、および
ＩＤサブ要素および値サブ要素を含むフィールド要素
を含むことを特徴とするシステム。
【請求項１５】
前記電子文書は構造化データの型を示す少なくとも１つの要素をさらに含むことを特徴とする請求項１４に記載のシステム。
【請求項１６】
前記型は、レコード型、代数データ型、タプル型、抽象データ型、参照型、クラス型、および関数型のうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１５に記載のシステム。
【請求項１７】
前記項目は、前記コラム要素を示すＩＤ要素を含むことを特徴とする請求項１４に記載

のシステム。
【請求項１８】
コンピュータによって構造化データを配信する方法であって、
構造化データを含む電子文書を処理するステップを含み、前記構造化データはデータテーブルからのデータを含み、前記電子文書はＲＳＳ（Really Simple Syndication）フォーマットと互換性があり、前記構造化データのフォーマットは、データ構造を維持したままＲＳＳ互換フィードを介して電子文書データを処理するために、前記データテーブルからのデータがユーザアプリケーションにロードでき、前記ユーザアプリケーションは表計算アプリケーションであり、前記ユーザアプリケーションがリフレッシュするとき、前記構造化データのフォーマットは前記ユーザアプリケーションが前記データテーブルから自動的にデータを更新できることを特徴とする方法。
【請求項１９】
前記電子文書は構造化データの型を示す少なくとも１つの要素をさらに含むことを特徴とする請求項１８に記載の方法。
【請求項２０】
前記構造化データのフォーマットは項目を含み、前記項目は、前記コラム要素を示すＩＤ要素を含むことを特徴とする請求項１８に記載の方法。